

2011年度保護者満足度調査自由記述と質問への回答

2011年度保護者満足度調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

自由記述に本学の教育に対し、好意的なコメントをいただきましたので、下記にご紹介いたします。

一方、多くのご質問・ご要望をお寄せいただきました。すべてに回答することはできませんが、[質問・要望に対する回答]として回答いたします。

今後もよりよい教育を目指して取り組んでまいりますので、引き続きご支援、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

[自由記述の一部の紹介]

- ・毎回丁寧に指導していただいているようで、ありがとうございます。今後も実習で学んだことが就職後に活かせるような教育をしていただききたいと思います。(看護学部)
- ・とても充実した学生生活を送ることができました。就職も希望どおりにできて、この大学に入学してよかったと思います。(社会福祉学科)
- ・卒業しますが、大学後援会関係者様等には感謝の気持ちでいっぱいです。この大学に入学してさせていただいたこと本当にありがたく思っております。これからのご活躍、ご発展を影ながら応援させていただきます。(理学療法学科)
- ・無事に希望する就職先に就職が決まりました。国家試験対策を丁寧にやって下さり本当に助かります。ありがとうございます。(作業療法学科)
- ・少人数できめ細かな指導をしていただきありがとうございました。就職後もお世話になると思いますのでよろしくお願いします。(言語聴覚学科)
- ・皆さんの支援により4年間、とても充実した学生生活を送ることができました。(社会福祉学科)
- ・施設・友達とも良いと聞いています。充実した教育を期待しています。(社会福祉学科)
- ・全体的に丁寧な対応をしていただきありがとうございます。(看護学部)
- ・子供が満足しているので、進学させてよかったと思います。(看護学部)
- ・学報や保護者懇談会等で情報を得ることができるので、とても参考になります。(看護学部)
- ・勉強や実習など頑張っている様子がわかるのでとても助かります。(看護学部)
- ・介護に必要な人材を育成している聖隷クリストファー大学への期待は大きいです。優秀な職業人を育てて下さい。応援しています。(介護福祉学科)
- ・面倒見のよい先輩が多く、とても頼もしいです。(こども教育福祉学科)
- ・経営状態について詳しい数字まで発表してくれているのでとても信頼できます。(こども教育福祉学科)
- ・子供が実習先で大学の教授の方々の名前を出すと「素晴らしい環境で勉強しているんですね」と言われ、あらためて充実した教育環境であることを認識したみたいでした。(作業療法学科)

[質問・要望に対する回答]

教育 学生支援 就職支援 国際交流 施設・設備 情報提供

(1) 教育

【看護学部】

(質問) 実習に関して、先生により発言や指導のしかたが違うようです。

(回答) 臨地看護学実習においては看護の原則は変わらなくても、患者さんや利用者さんの状況に応じて、学生に対する指導のポイントが異なる場合があります。個別性に応じた看護という観点からすると必ずしも一つの対応がよいわけではありません。また、学習上統一が必要な内容については、教員間で話し合って指導を行っています。しかし、学生が、教員によって「違う」と思うのは、教員との間の十分なコミュニケーションや納得できる話し合い等ができずにすれ違いが生じているからだと考えられます。今後は学生が納得できるように、より丁寧な説明や話し合いをしていくようにします。

(質問) 先生に質問すると、自分で考えるように言われ、答えがわからず終わってしまうことがあるようです。

(回答) 「自分で考える」ことは、主体的な学習にはとても大切なことだと思います。しかし、時には何を、どのように考えていけばよいかわからない場合もあるかもしれません。そのような時に、教員は学生が自分で考えることができるように、一緒に考える段取りを踏むなどの関わりをしていきます。また、教員は学生の質問を誠実に受け止めて、答えることを心がけていきます。

(質問) 国家試験対策に力を入れてほしい。

(回答) 本学では、3年生の秋 semester から、国家試験ガイダンスが始まり、学内で模擬試験を看護師・保健師とも行っています。また4年次の秋 semester から国試対策に特化した勉強会を毎週・看護師・保健師とも行っています。外部の模擬試験も計画し、結果が伸び悩む学生には、国試対策委員会の教員が担当学生を決めて、個別に支援をしています。またアドバイザー制度があり、アドバイザーの先生からの精神的なサポートや常に質問に応じる姿勢を打ち出しています。その成果もあり、本学の看護師国試合格率は全国の大学平均を常に上回る状況です。教員組織は、あくまでも学生が主体的に勉強に取り組むことを支える姿勢をとり、学生の国家試験委員会と教員の国試対策委員会とが連携し、対策を進めています。

(質問) 授業態度の悪い学生に注意してほしい。

(回答) 教員は充実した授業が出来るように真剣に取り組んでいます。私語や受講マナーに対して、大学として具体的な取り組みを行っており、それに基づき教員も注意していきます。私語の問題は学生にも改善を考えてほしい問題ですので、学生同士でも注意を促すように声をかけながら授業を進めます。

(質問) 養護教諭課程を取らない学生は時間割が空き、待ち時間が長いようなので、できる範囲で配慮してほしい。

(回答) 大学全体として、順序性があり適切に履修ができるような授業配置を心掛けています。ただ、大学には、複数の課程が同時並行で進んでいますし、多くの選択科目がおかれています。従って大学での授業は、専攻する課程や、履修登録した選択科目により、学生の時間割はそれぞれ違い、どうしても空いた時間ができることがあります。空いた時間ができたら、図書館や学生ホール、あるいは使われていない教室・演習室等を使って自習をすることが大切です。それが、確実に成果を身につけていく道になります。大学の講義の持つ特徴を理解して、しっかり学習内容が身につくように指導していきます。

(質問) 演習で使用するマスクや手袋など大学で用意してほしい。演習で使用する様々な物品は学生の人数分用意し貸してほしい。

(回答) 原則として、共通で使う消耗品は大学で用意しますが、個人によりサイズが違うユニフォームや靴、将来も看護師として必要になる聴診器などは各個人で用意してもらいます。看護技術演習で使用するマスクや手袋は全て大学で用意しています。そして、看護技術演習で使用する消耗品等の物品は演習内容・方法に応じて必要数を全て用意しています。ただし、人数分用意できない高額シミュレーターは交代で使用するようにしています。

(質問) 地域看護学実習で実習地の違いによる交通費の負担はどうなっていますか。

(回答) 地域看護学実習は、実習市町村の数も少なく、大学近くの市に多くの学生が集中することはできず、実習地が遠方になる学生も出てきます。遠方の実習地では宿泊を要する学生もいて、宿泊代を含め実習交通費に大きな差が生じます。そのため大学では、実習地域に関係なく一律に学生より実習費を集め、宿泊や交通費としてかかった分だけ支払われるルールをつくり実施しています。学生の実習交通費の負担金額が少なくなるように、大学後援会からの補助を受けて、地域看護学領域の教員が学生の現在の居住地、実家の場所を事前に調査し、交通費ができるだけ少なくなるような工夫をしています。実習終了後、徴収した金額に余りが出た場合は、学生に返却しています。

【社会福祉学部】

(質問) 1年次の授業が少ないのではないのでしょうか

(回答) 現在、1年次の共通科目を見直し、順次、系統的な学びができるように教育課程の変更を行っております。また大学の周辺には様々な福祉施設があります。1年目には、ぜひ福祉施設でのボランティアや、高齢者や障がいのある人との出会いの体験などをしていただきたいと思いますと考えております。さまざまな機会をとらえて学生たちに福祉施設の行事等の企画を紹介していきますので、積極的に参加をしていただきたいと思います。

(質問) 私語が多くて授業に集中できないようです。

(回答) 私語を厳しく注意する教員とそうでない教員がおり、教員によって私語に対する対応や受講マナー（遅刻や早退を含む）に対する説明が不十分であり、ばらつきもありました。授業を担当する教員全員がこの問題を放置せず、学習環境を改善するよう取り組みます。私語を発することがないような魅力的な授業を展開できるよう、教育力を上げるよう教員研修等も行います。また、学部教員が丸丸とって取り組むために「私語攻略ハンドブック(2008年4月発行)」を活用していきます。

(質問) 1年次に社会福祉士の実習がないのですが、実習はいつ実施されるのですか。

(回答) 社会福祉士資格取得のための実習は3年次に、原則23日間実施します。2年次の秋 semester には自分の希望する領域を決め、それに基づいて実習施設が決定します。自分の希望する領域を決めるために1年次より科目が準備されています。たとえば、1年次の「インターンシップ入門」ではデイサービスで4日間の実習体験をします。2年次は「インターンシップⅠ」があり、自分の希望する領域の実習先で半日実習を10日間行います。このように、自分が将来進む領域を模索しながら、進路決定を行い、それに基づいて実習を行います。

実習施設は出来るだけ希望に添ったものになるように実習担当教員が配属を決めていますが、今後さらにきめ細かな実習指導により満足行く実習が実施できるように取り組みます。

(質問) 子ども自身が自分の希望する職種の職場や就職の現状等、就職情報を知らないようです。先生方と面談の機会を持っていただきたいです。

(回答) 就職支援について、全学の取り組みに加え、きめ細かな個別対応を心掛けております。就職の状況については、学科のニュースレター等で内定が決まった学生の就職活動についての記事を掲載します。年次ごとの就職内定先、求人先に関しても職種・内容を含めた資料を作成し、保護者と学生に対して配布するようにします。

希望する就職先の情報や模擬面接の実施など具体的な支援と合わせて、学生が就職後に自分の将来像が見えるような先を見据えた面談等をアドバイザー担当教員や各領域の教員が専門性をいかしながら担うような、丁寧な就職支援体制を整えるようにします。

【リハビリテーション学部】

●理学療法学科

(質問) 実習が大変と聞きますが、実習回数と長さはどうなっているのでしょうか。

(回答) 実習病院・施設は県内外の臨床教育力の高い実習指導者がいる施設を厳選しています。回数と期間は、理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則（文部科学省・厚生労働省）の基準の時間数としていきますので、他校と比べて回数や期間に大きな差はないと思われます。臨床実習は、実習前に臨床実習指導者会議を開催し、大学と実習施設および臨床実習指導者との連携体制を整え、また実習中も実習の進捗状況の確認のため、教員から臨床実習指導者に対して複数回の電話連絡と実習地訪問を行い、教員と臨床実習指導者および学生が連絡・連携を密に図りながら指導する体制を整えています。

●作業療法学科

(質問) 実習はもっと近隣の施設を利用できないのでしょうか。

(回答) 臨床実習指導者は3年以上の経験を有する作業療法士と定められています。本学科において臨床実習を依頼する際には、十分な実習指導体制が整い、豊富な指導経験を有する作業療法士が充足している施設に対して臨床実習を依頼しております。作業療法士の数は年々増えてきておりますが、大学近隣におきましてこの条件を満たす施設数には限りがあるのが現状です。今後も可能な限り近隣での実習地確保に努力してまいります。このような理由から、一定割合で遠方の実習地となりますことをご理解ください。実習中は教員が細やかに状況把握をし、実習期間の半ばには直接実習地に訪問サポートしておりますのでご安心ください。

●言語聴覚学科

(質問) 実習が大変でつまずく学生が多いようです。

(回答) 実習でつまずく学生が多いことは教員も頭を痛めております。学内での演習はグループで行うので、学外実習で個人としての能力が試されることになります。その時、自らの知識・技術の未熟さ、精神的な弱さが浮き彫りになり、それを克服して成長しようという姿勢を保てるかどうかという試金石となります。本人の適性に合わせて選択する実習先の指導者は決して過大な要求をするわけではなく、言語聴覚士としての基本的な能力を実践の場で示してくれます。今後、実習でつまずく学生が少なくなるよう、一年生から職業人として独り立ちするために必要な資質を積み上げていく教育方針を検討しています。

(質問) 子供の発達の面から言語聴覚士が必要とされているところが増えてきたので、これから求められる職として必要なカリキュラムへの取り組みなどを検討してほしい。

(回答) 2年生で発達障害について学ぶ「言語発達障害学Ⅰ、Ⅱ」という科目があります。そこで保育園実習、学内での健常児演習、また近隣の療育施設での演習を行い、小児の発達や障害について学ぶ機会を設けています。また、3年生の「言語発達障害学Ⅲ」では保健・福祉・教育現場における言語聴覚士の取り組みについても講義しています。臨床実習先は小児の臨床をしている施設も多くはありませんが確保しています。今後、教育分野でも言語聴覚士が活躍できるよう職能団体として取り組んでいく必要があると思います。

(質問) 就職活動に必要なことや先輩からの生の声を聞けるようにしてほしい。

(回答) 現場で活躍している言語聴覚士に自身の就職や職場の状況を話してもらう「就職講演会」を設けています。また、卒業前の4年生から就職活動について聞く「就職報告会」を実施しています。1年生から各セメスターで就職ガイダンスを行っています。言語聴覚学科の卒業生の同窓会（言窓会）も様々な活動をしており、在校生も自由に参加できます。

(質問) どのように就職先を決めていくのか分かりにくい。

(回答) 最初は本人も気持ちが曖昧な状態なので、様々な情報を提供し、ご本人の適性や希望（たとえば病院では急性期か回復期か、対象は成人か小児か、専門領域では言語か聴覚か、先輩の言語聴覚士がいて指導をしてもらえるかどうか、など）を確認していきます。また先方の条件も鑑みて、いくつかの施設を見学に行き現場の雰囲気も感じて自分に合う就職先を決めていきます。最終的に決定するのは本人です。

●リハビリテーション学部共通

(質問) 実習の宿泊費の負担はどうなっていますか。

(回答) リハビリテーション学部の実習宿泊に係る費用は1/3を大学で負担し、2/3のうち後援会からの年間140万円の補助を差し引き、その残額を実習宿泊費として集金しています。集金額は宿泊施設利用の有無に関わりなく、全員が均等負担としています。近隣の施設でも毎日の交通費がかかることとなりますので出来るだけ近隣施設と遠方の施設が平等になるよう学生ごとの実習先を配置しています。

【全学共通】

(質問) 学業成績を数値化したものを提供してほしい。成績表の発表を年 2 回にしてほしい。欠席リストの発送を希望します。

(回答) 保護者の方へは 2 年次以降、成績表を毎年 1 回、5 月に郵送しています。学生には 4 月と 10 月の Semester 開始時にアドバイザーからコメントを添えて直接、成績表を配布しています。

その際、成績を GPA 数値で表したものと学部・学科の平均値を示したものを合わせて配布しています。GPA とは Grade Point Average の略で、一部の実習や演習を除くすべての科目の成績を数値化し 0 点から 5 点までの数値で表す制度です。学生個々が自分の学修を評価し、主体的に学修に取り組むための材料として活用できるものです。保護者の方からお子さんに声をかけていただき、GPA の数値などをもとに日頃から学業について話し合ってみてはいかがでしょうか。

なお、授業等への出欠の状況について、本人に確認ができずご心配な場合は、教務事務センターにご連絡いただければ、アドバイザー教員など事情のわかる教員に取り次ぐこともいたします。その他、単位修得が順調に行かず、卒業延期になる場合などは学費納付の問題も生じてきます。そのような場合は、学生本人はもとより保護者の方にもアドバイザー教員その他の教員からその都度説明をするようにしていますので、ご協力をお願いいたします。

(質問) 事務職員の対応が悪い場合があるようです。

(回答) 事務職員は事務の内容によっては（特に教務事務）、規則に沿ってだめなことはだめと回答する、検討のため回答までに時間がかかるなど厳しい対応をせざるを得ない場合があることは理解してください。しかし、その際も含めて対応には学生の立場に立ち愛情をもって、ていねいに親切に対応し、窓口で学生が不快な思い、つらい思いをすることがないように、事務部門全体で取り組みます。

なお、新 5 号館完成・図書館の移転後は、現在の図書館 1 階部分にいくつかの事務センターをまとめて配置し、就職や学生関係、教務、国際交流などいろいろな用件を 1 か所で済ませることができるようになる計画を進めています。

職員対応の改善とあわせて事務サービスの向上を図る計画です。

(2) 学生支援

【健康支援】

(質問) 一人暮らしで健康管理が心配です。

(回答) 大学には学生の健康をサポートするために健康管理センターがあります。保健師が、健康相談、栄養相談、受診先の相談等に応じていますので是非ご利用ください。特に一人暮らしを始めたばかりの学生は、健康面で心配が多いと思いますので、保護者の方からも健康管理センターを利用するよう勧めてください。

(質問) 病気になった時にどこに受診したらよいか不安です。下宿、大学周辺の病院案内等、資料がほしいです。

(回答) キャンパスライフ（学生生活の手引き）最後のページの大学周辺マップに医療機関も表示してあります。もっと詳しい情報を知りたい時や、受診に関するいろいろな相談ごとは健康管理センターで対応しています。症状や希望に合った医療機関を調べて情報提供していますのでお気軽にご相談ください。一人暮らしで、急病になって大学へも行けないような場合は、まず電話で学生サービスセンター（053-436-1125）に電話をしてください。本学には、アドバイザー制度もあります。教員に相談したい場合は、まず、アドバイザーの先生に連絡をしてください。

(質問) 学生が授業内容や教員に対する疑問を気軽に相談できる所はあるのでしょうか。指導内容に保護者として疑問を抱く時はどこに相談したら良いのでしょうか。

(回答) 相談先のひとつは、アドバイザーの教員です。授業内容の事や教員に関する疑問は、アドバイザーが受けてくれます。しかし、教員では相談しにくいと思う場合は、授業内容の事であれば教務事務センターに、また、一般的な事柄については、学生サービスセンターあるいは大学総務部に相談してください。

【健康支援】

- (質問) 悩みの内容によっては誰にも相談できずに1人で抱えてしまいます傾向もあるので相談したい方に相談できる体制があってもよいのではないのでしょうか。
- (回答) おたずねのような場合には、学生相談室があります。専門の相談員（専任）がおりますので、こちらを利用してください。学生相談室では、必要があれば、カウンセラーのカウンセリングを受ける事も可能です。
- また、実習については、相談員が、実習等を担当する教員とも相談をして、適切な対応を取る様にしています。

【盗難】

- (質問) 時に自転車の盗難があるようですが、どのような対応をしていますか。
- (回答) 自転車の盗難は、ほとんどが鍵をかけ忘れた時に起きています。いつ盗難に遭うかわかりませんので、必ず施錠をするように指導しています。また、財布などの貴重品についても常に携帯するよう教員から注意を促しています。保護者の皆様からも学生に自衛をするよう助言をお願いします。

【不審者対応】

- (質問) 大学の周辺に不審者が出没した場合どのような対応をしていますか。
- (回答) その際は、管轄の警察署に連絡をし、大学周辺の昼夜のパトロールを強化してもらっています。また、学生には、特に夜間はさみしい場所を一人で帰宅しないよう掲示板や在学生一斉メールなどで注意を促しています。
- 保護者の皆様にもお願いしたい事があります。学生の中に、最新流行のファッションなのかも知れませんが、ごく短いスカートやパンツに素足という出で立ちの学生が見受けられます。大学は勉学に来るところで、モールや繁華街ではありません。勉学にふさわしい、安全な服装を守るべく注意を促して下さるようご協力をお願い致します。

【学生の飲酒】

- (質問) 学生の飲み会があるようですが、未成年の飲酒に対する指導はどのように行っていますか。
- (回答) 未成年の飲酒は、法律ではもちろんのこと本学の「キャンパスルールも守らない学生への対応に関する内規」でも禁止しており、飲ませた方も飲んだ方も指導処分の対象になります。飲酒事故を防ぐために、学部やサークル等の飲み会などで未成年者に飲酒をさせたり、成人した学生に対しても、一気飲みなど無理に飲ませる行為をしないよう学生に教員や学友会を通して注意を再度促しています。

【バスの利用マナー】

- (質問) バス利用のマナーが良くないようですが、どのような指導を行っていますか。
- (回答) 4月の新入生オリエンテーション及び在学生ガイダンスで学生にバスの利用マナーの注意をしました。それだけでは不十分であるため、定期的にバス停で教職員がバスを利用する学生にチラシを配布して注意を促します。

【聖灯祭】

- (質問) 聖灯祭をもう少し充実してほしい。
- (回答) 聖灯祭では、学友会をはじめ聖灯祭実行委員会とそれらをサポートする学生部（教職員）が連携して、企画・実行をしています。できるだけ多くの学生に参加してもらうことによって盛大になると考えます。学生への参加の呼びかけはもちろん、教職員の積極的な参加も促していきたいと思えます。今後も聖灯祭実行委員会によるイベント企画の積極的な展開を促しながら、ホームカミングデーとより連携を密にしていきたいと考えます。

【地震時の対応】

- (質問) 下宿をしています。地震の時の対応はどうすればよいのでしょうか。
- (回答) 下記の大学ホームページに掲載している「キャンパスライフ（学生生活の手引き）〈P.33～P.37〉」に地震発生時の対応を記載しています。http://www.seirei.ac.jp/pdf/2012_campus/all.pdf 災害発生時の家族知人との安否連絡方法、大学への安否連絡方法についても記載していますので、学生と一緒にご確認ください。下宿・アパートの地震対策についても参考にしてください。

(3) 就職支援

(質問) 保護者に就職活動(活動時期、活動内容)の情報がほしい

(回答) 就職活動は学部や進路先によって開始時期が異なりますが、一般的には社会福祉学部社会福祉学科、臨床介護福祉学科は3年次生の春から、看護学部、社会福祉学部こども福祉学科は3年次生の夏、リハビリテーション学部は4年次生の春から本格的に活動を開始します(保健師を含む公務員試験対策は2年次生から開始します)。

地域で活躍する専門職者の方による講演会、先輩の就職活動体験を聞く就職活動報告会、病院・施設の人事担当者をお招きして学内で行う病院・施設説明会等の就職支援行事を開催しています。

また、就職センターホームページ(大学ホームページ→在学生→就職センター)に就職情報を掲載していますので、ご確認ください。インターネットが見れない方には申し訳ございません。

(質問) 就職を希望する病院・施設の情報はどのように集めたいのでしょうか。

(回答) 全国から届いた求人票、パンフレット等は学部毎に整理されており、就職センターで自由に閲覧できます。また学外で行われる病院・施設・企業説明会の情報や採用試験等の情報は、就職センターの掲示板等で学生に伝えています。学生個々の希望については、進路ガイダンス時にアンケート調査を行い、就職センター職員が支援方法を検討します。また、学生の希望に応じてその地域の求人情報を調査します。

(4) 国際交流

(質問) 学生が海外研修や実習に参加してみたいと思うように、大学側にもっと働きかけてもらいたい。

(回答) 例年全学部生を対象に本学主催の研修・実習に関する説明会を年4回行い、各研修の魅力や内容について紹介しています。また、国際交流ホームページでは研修・実習に関するQ&Aや、過去の研修に参加した学生のアンケート結果や写真を掲載するなどして各プログラムの様子をお伝えしています。今後は、説明会時に海外研修や実習に関心のある学生が、過去の研修・実習参加者から直接話を聞く機会を設けるなどし、海外研修・実習をより身近に感じることができるよう案内に工夫をしています。

(質問) 海外研修・実習に参加するにあたり、参加費補助はありますか？

(回答) 本学の多くの海外研修・実習プログラムは交流協定締結校等の協力のもと実施されているため、他大学で実施されている海外プログラムと比べても割安な参加費用が設定されています。また、2011年度および2012年度は本学が交流協定締結校と実施している研修・実習プログラムが国際的な視野を有する学生の育成促進を目的とした日本学生支援機構留学生交流支援制度(ショートステイ・ショートビジット)に採択され、参加者に奨学金が支給されました(1人あたり8万円)。学生の経済的負担を軽減し、より多くの学生が海外研修・実習に参加できるよう今後も引き続き努力していきます。

(5) 施設・設備

【食堂・売店】

(質問) 学生食堂が混雑して利用しにくい。売店も狭いので充実させてほしい。

(回答) 2013年1月の竣工を予定している新5号館が完成した後、現在2号館2階にある聖隷歴史資料館を移転します。その移転跡190㎡のうち、140㎡を食堂スペースに、33㎡を売店スペースに充てる予定です。また新5号館2階には学生ラウンジを設け、昼食や談話のできる場所とする予定です。これらの整備が終わると、食事場所の席数は現在より約80席程度増加することになり、混雑緩和に効果があるものと考えます。また、売店スペースは従来の約1.5倍になり、取り扱う商品の種類・量等も充実させられると考えております。

食堂・売店の運営は外部の業者に委託していますので、食堂のメニューの充実等については、可能な範囲で要望に沿えるよう食堂運業者と大学で話し合いをしています。メニューの価格については、材料費の高騰及び売上の状況から価格の現状維持も厳しい状況のため、価格の現状維持のための努力をしています。

【空調】

(質問) 教室が暑すぎる、寒すぎる時があるようです。

(回答) エアコンの温度設定は、教室のある方角や階数などをもとに、部屋毎に設定するなどの工夫をしています。天候や教室にいる人数も影響しますので、学生から申し出があった場合には状況を確認し、温度を調整します。適切な教育環境の維持のため、エアコンの温度設定を一層きめ細かく調節するよう努めています。また、全員が快適な状態にすることは個人差があり困難なため、学生にも服装を工夫するなど協力をお願いしています。

【駐車場】

(質問) 駐車台数を増やしてほしい。

(回答) 許可台数を増やしてほしいとの声を受けて、聖隷学園全体の駐車場スペースの見直しを行った結果、約 35 台分の新しい駐車場が確保できましたので、2012 年 4 月の申請者に対し追加許可をしました。

現在、第一・第二駐車場は収容台数を 2 割ほど上回る駐車許可を出しています。できるだけ多くの学生が駐車場を利用できるよう、実習や時間割等で大学に登校しない学生や学外の活動があり通勤しない日もある教員の車を見込んで収容台数以上の許可を出しています。そのため、実習中の帰校日やガイダンスの日には駐車場に入りきれない車がでますが、そのときは職員の指示に従って別の場所への駐車するよう協力を依頼しています。

【図書館】

(質問) 図書館を夜 11 時まで開けてほしい。日曜日も開けてほしい。勉強に対する意欲を高める支援として図書館の充実を求めます。

(回答) 夜間開館に関して、近隣大学や近隣の本学と同系の大学の状況を見ると 19 時 30 分から 22 時 00 分までの範囲での終了となっており、本学の 21 時 00 分閉館は妥当な時間であると考えています。その理由は、本学の周辺環境や公共交通機関の運行状況等から、学部生に対して安全に配慮しながら一方で学習時間を確保するぎりぎりの時間だといえるからです。夜間や休日の通学が主となる大学院生（全員が社会人）には、24 時間入館できる便宜も図り学習・研究に配慮しています。

図書館は 2013 年初めに完成する新 5 号館に移転し、閲覧室、書架などが現在の 1.5 倍の容量になるほか、ラーニングコモンズという共有の学習室やグループ学習室も併設されます。現在本学では、「自律型学習」の推進を重点課題として図書館も含めた施設・設備の充実に取り組んでいるところです。

【パソコン】

(質問) 勉強に対する意欲を高める支援として、パソコンの充実を求めます。学生個人所有のノートパソコンを学内で使用できる環境整備を推進とありますが、実際にパソコンを持ち込める学生がどの程度いるのか疑問に思います。

(回答) 現在、学生のパソコンの所有率はご家族と共用のものも含めて 80%を超えていますので、個人のパソコンを学内に持ってきて使用できるよう、無線 LAN の整備を進めています。無線 LAN は 1・2・3・6 号館で使えるようになりました。接続の設定についてはパソコンを持ってきてもらい、電算センターで行なっています。

その一方で、御指摘のような疑問や、大学内のパソコンの充実についてのご意見も多いことから、コンピュータ教室以外の場所（パソコンを置いていない演習室や、新 5 号館図書館ラーニングコモンズ）にパソコンの台数を増やすことも検討し、両面で改善を図ります。今後、学内のプリンタへも出力できるようにするなど、より便利な利用環境の整備を計画します。

(6) 情報提供

(質問) 大学報以外でもっと大学の様子をもっと知りたいのですが。

(回答) 聖隷クリストファー大学の保護者向けホームページ (<http://www.seirei.ac.jp/gardian/>) に保護者懇談会に関する情報等を掲載しておりますのでご覧ください。また、大学内の情報につきましては、①大学、②在学生対象、③卒業生対象の 3 種の Facebook を開設しました。どなたでもご覧いただけますので、是非アクセスして、大学の状況等を知っていただければと思います（「いいね」ボタンをクリックすると、大学側で情報を更新する毎にご自身のページに即時掲載されます）。

①大学 Page : <http://www.facebook.com/seirei.christopher.university>

②在学生 Page : <http://www.facebook.com/seirei.christopher.university.studentpage>

③卒業生 Page : <http://www.facebook.com/seirei.christopher.university.alumnipage>

この報告書についてのご意見、お問い合わせは下記までお寄せください。

聖隷クリストファー大学 後援会

〒433-8558 静岡県浜松市北区三方原町 3453

電話 053-439-1400 FAX 053-439-1406